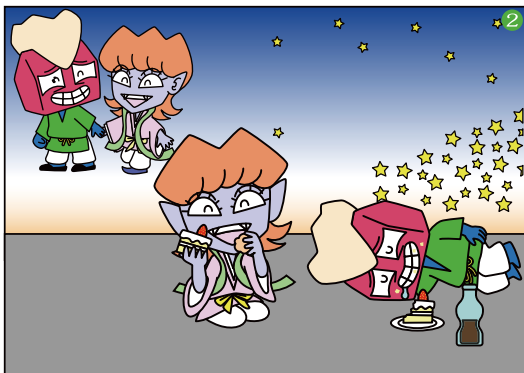


ふたりはすぐに  
なかよくなりました。  
しごとをわすれて  
あそんでばかりです。

いつものおやつも  
ふたりでたべると  
とてもおいしくて  
いくらでも

たべられます。  
たべてのんで  
あそんでねる  
のくいかえしです。



しばらくくするとふたりが  
 はたらかなくなっただので  
 ひこぼしの はたけの  
 やさいたちは  
 かれてしまいそうになり、  
 おりひめの おったきじも  
 てにはいらなくなり、  
 ひとびとほやても  
 こまっています。

そしてついに…

「あいたたたた！」

ふたりはむしぼに  
 なってしまいました。  
 かみさまもこれには  
 だまっていられません。



「じいとも はみがきもしないで

あそんでばかりいるから

むしぼになるんだ。

ふたりでいると あそんでしまっなり

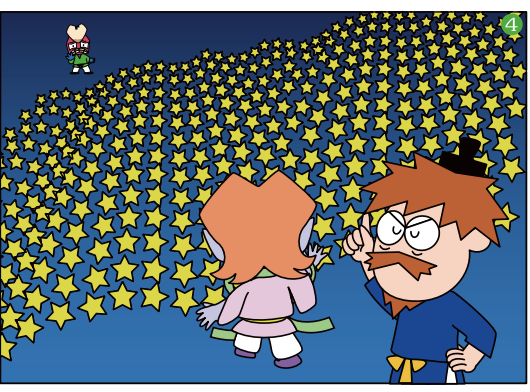
もういっしょにぐらぐらすいそはゆるむと。」

かみさまは そういって

ふたりを あまのがわの

にしとひがしに

ひきはなしてしまいました。



それからさというもの  
ふたりはないてばかりいました。  
しごともてに つきません。  
かわいそうになった  
かみさまはこういいました。

「そんなに

あいたいなら まず

そのむしぼをなおして、

むかしの ような

きそくただし

せいかつを

おくりなさい。

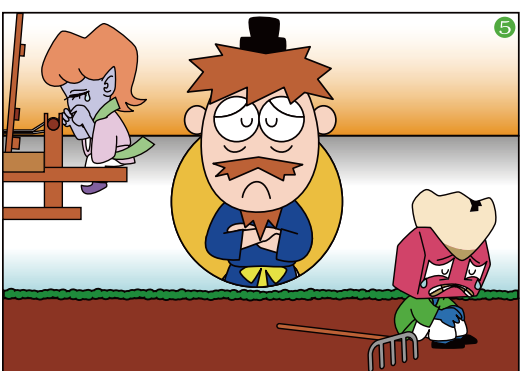
そしてこれから

いちねんかん

むしぼをひさつも

つくらなければ

あわせてあげよう」



おりひめさ

ひこぼしは

それからまいにち

きそく ただしい

せいかつを おくり

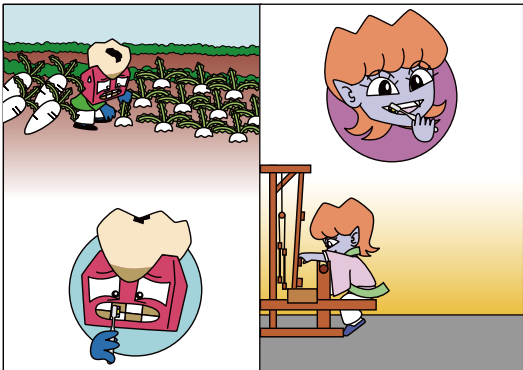
はみがきは もちろん

しごとをも

いまままで

いじょうに

がんばりました。



そくて

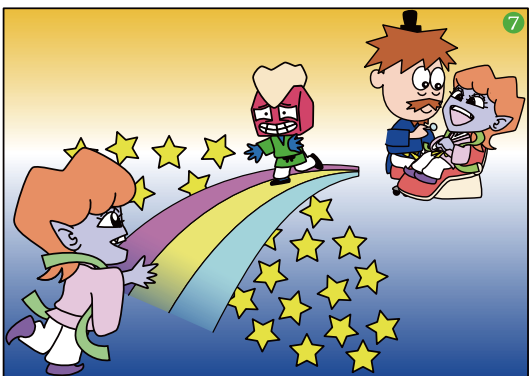
むしぼをつくらなかった

ふたいは

かみさまのゆるしをえて

7がつ7かのよるは

とてもしあわせにすごしました。



ごはんや

おやつを

たべたら

はを

みがこうね!



てんにおりひめという

はたおりじょうずな

むすめがいました。

あるとき かみさまは

としごろになった

おりひめに

はたらきもので

ひょうばんの

ひこぼしをおむこさんに

むかえることになりました。

